



医療機関版

## NEWS LETTER

2015 年 9 月号

労務経営サポート マルヤマ事務所

静岡県静岡市葵区宮ヶ崎町76番地

TEL : 054-275-2241 / FAX : 054-275-2236

Topic

## 「骨太の方針」にみる、今後の医療業界



「経済財政運営と改革の基本方針 2015」※、いわゆる「骨太の方針」が 6 月 30 日に閣議決定されました。社会保障分野から、医療関連に注目します。

## 医療・介護提供体制の適正化

- ・ データ分析による「見える化」を踏まえた、病床機能分化や連携の推進、地域差の是正
- ・ 慢性期の医療や介護提供体制の見直し
- ・ 外来医療費は、重複受診、重複投与、重複検査等の適正化を通じて地域差を是正
- ・ かかりつけ医普及のための診療報酬上の対応や、外来時定額負担の検討

## インセンティブ改革

- ・ 特定健診、がん検診の受診率向上の取組
- ・ ヘルスケアポイント付与や保険料支援
- ・ がん対策の取組を一層推進

## 公的サービスの産業化

- ・ 企業による健康経営の取組との更なる連携
- ・ 公的保険外サービスの産業化の促進
- ・ マイナンバー制度のインフラ活用

## 能力に応じた公平な負担、給付の適正化

- ・ 高額療養費制度、後期高齢者の窓口負担の在り方について検討
- ・ 医薬品や医療機器等の保険適用の費用対効果を平成 28 年度診療報酬改定に試行的導入
- ・ 生活習慣病治療薬の処方方の在り方等の検討
- ・ 市販品類似薬に係る保険給付の見直し
- ・ 不適切な給付防止の検討

## 薬価・調剤の診療報酬改革等

- ・ 後発医薬品シェア、2017 年央に 70% 以上
- ・ 2018 年度までに薬価改定を検討
- ・ かかりつけ薬局推進のため、平成 28 年度診療報酬改定において患者本位の医薬分業実現に向けた見直し

※詳細は次の URL のページからご確認ください。

<http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/2015/decision0630.html>

## 医療版マイナンバー制、2020 年までに本格運用

同じく 6 月 30 日に閣議決定された『日本再興戦略』改訂 2015』には、医療版マイナンバー制の導入が盛り込まれています。

ここでは、セキュリティーの徹底的な確保

を図りつつ、マイナンバー制度のインフラを活用した医療等分野における番号制度を、2018 年から段階的に運用開始し、2020 年までに本格運用とする方針が記載されています。

# 医療機関が持つ後発医薬品に対する不信感

後発医薬品の利用について、厚生労働省では平成 30 年 3 月末までに、「後発医薬品の数量シェアを 60%以上にする」という目標を掲げています。しかし同省によると、25 年 9 月時点での数量シェアは 46.9%となっています。更なる普及のためには、実際に医薬品を処方する医療機関での積極的な取組が欠かせません。ところが今年 3 月に発表された資料\*によると、後発医薬品に対して不信感を持つ医療機関は少なくないようです。

## 6 割が不信感を持つという結果に

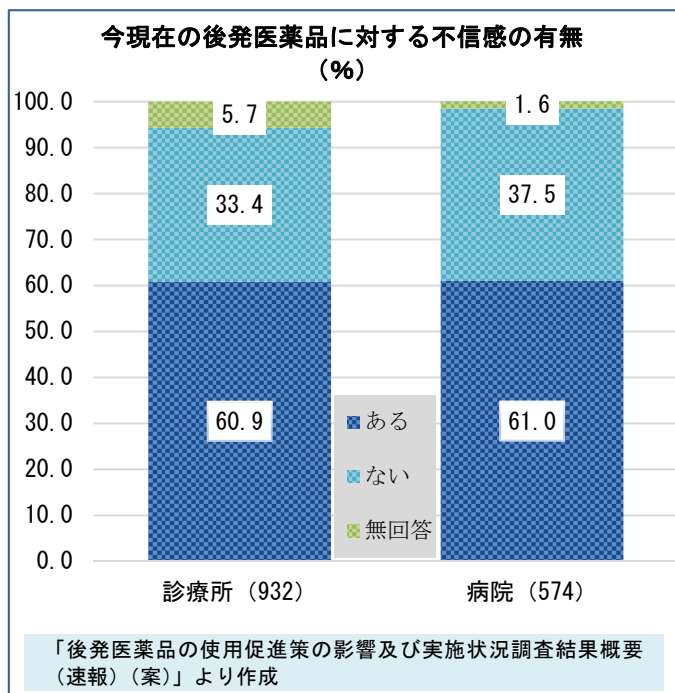
上記資料から病院と診療所の別に後発医薬品に対する不信感の有無をまとめると、右グラフのとおりです。病院、診療所ともに 6 割が後発医薬品に対して不信感を持っています。

## 不信感のきっかけは？

次に不信感があると回答した医療機関に対する不信感を抱いたきっかけをまとめると、下表のようになります。

診療所では「先発医薬品との効果・副作用の違いを経験した」が 69.7%で最も高い割合になりました。次いで「先発医薬品との使用感（味、色、剤形、粘着力等）の違いを経験した」の割合が高くなっています。診療所では先発医薬品との違いが、不信感のきっかけになった割合が高いことがわかります。

一方病院では、「処方していた後発医薬品の品切・製造中止」の割合が最も高くなっています。次いで、「先発医薬品との効果・副作用の違いを経験した」、「メーカーに情報提供を求めたが、対応に満足できなかった」の割合が高くなっています。病院ではメーカーの対応がきっかけで、後発医薬品に不信感を抱くところが多いことがわかります。



きっかけ	診療所 (568)	病院 (350)
先発医薬品との効果・副作用の違いを経験した	69.7	51.7
先発医薬品との使用感（味、色、剤形、粘着力等）の違いを経験した	43.8	40.9
後発医薬品メーカー間での効果の差を経験した	26.9	20.0
処方していた後発医薬品の品切・製造中止	28.9	67.4
メーカーから必要な情報が公開されていなかった	19.2	19.1
メーカーに情報提供を求めたが、対応に満足できなかった	10.7	45.1
医療関係者から後発医薬品に関する苦情を聞いた	23.6	28.0
その他	7.6	6.3
無回答	0.2	0.6

「後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査結果概要 (速報) (案)」より作成

後発医薬品の更なる普及には、医療機関が抱く不信感を解消していく取組が求められます。

\*平成 27 年 3 月 18 日の厚生労働省中央社会保険医療協議会 診療報酬改定結果検証部会 (第 44 回) で発表された「後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査結果概要 (速報) (案)」。全国の病院、一般診療所から無作為抽出した施設を対象に、26 年 10 月から 12 月にかけて実施された調査です。グラフ、表のカッコ内の数字は回答数になります。詳細は、次の URL のページからご確認ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000078080.html>

## 医療機関でよくみられる 人事労務Q&A

### 『スマートフォンやタブレット端末を業務に利用する際の注意点』



スマートフォンやタブレット端末を導入し、業務の効率化を目指したいと思います。労務管理上、導入にあたって注意すべき点は何かありますか？



タブレット端末等の導入は、業務の効率化やサービスの向上が図られるというメリットがある反面、勤務時間内の私的利用も想定され、更には情報漏えいリスクも伴います。トラブルを防止するためには、運用ルールを明確化すると同時に、運用の実行性を高めるために職員教育も行うべきでしょう。

#### 詳細解説：

このところ、高速データ通信や、様々なアプリケーションをタッチパネル形式で手軽に利用できるスマートフォンやタブレット端末の普及が急速に進んでいます。医療機関においても、問診票として使用するなど用途は幅広く、業務効率化のみならず、サービスの向上にも役立っているようです。



ところが一方で、様々なアプリケーションソフトをインストールすることもできるため、勤務時間中にゲームをしたり、私的メールの送受信等を行ったりして、業務とは関係のないことに没頭してしまい、規律が乱れて困っているという医療機関も増えています。また、タブレット端末等を外出先で紛失することなどにより機密情報が漏えいしてしまうのではないかと不安に陥る医療機関も多いことから、事前の対策が求められます。

こうした諸問題の対策としては、まずはタブレット端末等の使用にあたってのルールを

具体的に明確化することが必要です。例えば、次のようなルールを決めておくことがよいでしょう。

- 勤務時間中の私的利用の禁止
- 写真撮影の禁止
- 使用できる機能の制限
- パスワードによる閲覧制限 等

これらのルールについてまとめていくことにはなりますが、最終的には「タブレット端末利用規程」や「情報管理規程」といった規程を整備することが理想的です。更には、それらの内容を職員に浸透させるために、具体的なケースを用いた研修を開催し、行ってよいこと、悪いことをしっかり理解させておきたいところです。

今後、このような媒体は更に進化をするものと考えられますので、対策を講じることは時代の趨勢として捉え、トラブルが生じる前に運用ルール等を整備しておきたいところです。

# 事例で学ぶ 4 コマ劇場

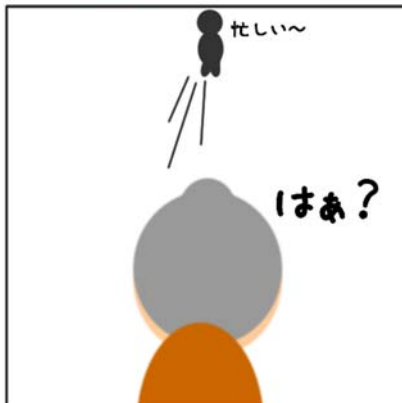
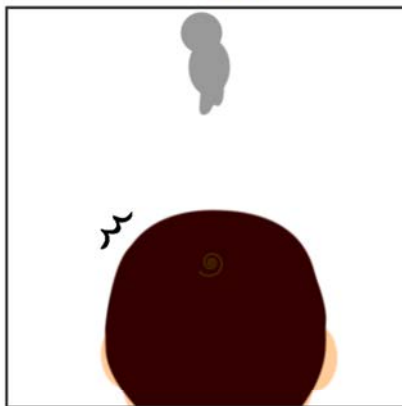
## 今月の接遇ワンポイント情報

### 『挨拶』



## ワンポイントアドバイス

### 挨拶



“挨拶”の漢字、【挨】には『近づく』、【拶】には『引き出す』という意味があります。つまり“挨拶”には、「近づいて引き出す」といった意味合いが含まれています。

ここで引き出すのは、**相手の気持ち**です。

そのため挨拶は、

『私は、あなたに対して心を開いていますよ』

『私は、あなたのことを歓迎していますよ』

という合図でもあるのです。

職場では、患者様にこの意味を伝えることができるような“挨拶”が求められます。実際はどうでしょうか。

アイさんは、患者様を追い抜かして振り向きざまに挨拶をしました。しかし、患者様には届かなかったようです。

- 相手の目を見ていますか？
- 身体（顔）は相手の方を向いていますか？
- 柔らかな表情（微笑み）ができていますか？
- 声のトーンは優しく柔らかに出ていますか？
- 気持ちにゆとりはありますか？

これらが揃うことで、歓迎のメッセージがプラスの働きとなり、相手に届きます。

日々業務で忙しいからこそ、これらの点に充分配慮をしなければ、プラスとしてのメッセージは届きにくくなります。もし何か欠けている場合には、特に具合が悪く緊張や不安を伴う患者様は、マイナスに受け取りやすいのです。

あなたの挨拶は、相手の心にプラスに届いていますか？

自分自身の気持ちが切り替えられるような、明るい挨拶をしましょう。